

事務事業の見直し意見

No15 図書館運営

総合評価	図書館運営については見直し
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館にかかる経費を下げるには、図書館数を減らすか運営方法を見直すかのどちらかになるが、生駒市では利用者も多いことから、図書館数を維持し運営方法を見直すべきである。 ・見直しにあたっては、経費のうち多くを占める人件費について見直す必要がある。 ・図書館法の改正により、図書館は地域の拠点としての役割が重視されるようになってきていることから、本館、分館のあり方について検討し、他市を参考に業務内容や正規職員と臨時職員との役割分担を見直すことで、適正な職員配置を進める必要がある。 ・図書館分館の運営については、本館によるバックアップを受けながら、ニーズを的確に把握し、市民の力を借りて時代に合った地域に根付いた図書館として適切な運営を行うよう、市民を含めた形での図書館運営の可能性を検討されたい。 ・分館については、従来の図書館の「静かに利用しなければならない」という固い印象より、もっと気軽に利用できる場所としてコミュニティ施設の一部としていくという方法も検討できる。 ・生駒市の図書館は読書に熱心な利用者が多いと見受けられるが、鹿ノ台分館については、地勢上利用者が鹿ノ台地区に限定されていることから、運営方法を見直し、その他の分館についても、順次、運営方法について見直しされたい。
担当課	図書館
R1 予算額	109,788 千円